

高齢者の気持ちを理解しよう

〈疑似体験で学ぶやさしさの第一歩！〉

5月9日（金）に、2年福祉コースは、高齢者疑似体験を行いました。白内障を体験できるゴーグルをかけて教科書を読んだり、軍手を2枚重ねて手の動きを制限し、箸で豆をつまんだりしました。これらの体験を通じて、高齢者の方々が日常生活で直面しているさまざまな困難について理解できました。



＜感想＞

- ・ 実際に高齢者の方々が日常生活で、感じている不便さを体験することができました。ぼやけて見えにくく、歩くときに周囲の状況が把握しづらいことに気付きました。
- ・ 高齢者が抱える不安を少し理解できた気がします。今後は、思いやりのある対応や、支援の方法について意識していきたいと思います。